

平成 26 年度水産多面的機能発揮対策事業オニヒトデ駆除事前調査結果概要

1.カナラグチシンクチ：8 調査区間（9 月 27 日実施）

オニヒトデ観察数：0-3 匹（合計 9 匹）

サンゴ被度：30%

20 cm未満の小型個体が多数を占める（9 匹中 7 匹）、白化現象

2.カナラグチイノー：5 調査区間（9 月 27 日実施）

オニヒトデ観察数：0-2 匹（合計 2 匹）

サンゴ被度：30-55%

ブラックバンド病、テルピオス共に多い、白化現象

3.ユイサーグチシンクチ：5 調査区間（9 月 19 日実施）

オニヒトデ観察数：0-1 匹（合計 1 匹）

サンゴ被度：10-35%

白化現象

4.ユイサーグチイノー：5 調査区間（9 月 19 日実施）

オニヒトデ観察数：0 匹（合計 0 匹）

サンゴ被度：10-30%

白化現象

5.ケングチシンクチ：10 調査区間（9 月 18 日実施）

オニヒトデ観察数：0-1 匹（合計 3 匹）

サンゴ被度：40-50%

台風破損目立つところあり、小型サンゴ群体の増加及び生長している場所あり、白化現象

6.ケングチイノー：10 調査区間（9 月 18 日実施）

オニヒトデ観察数：0 匹（合計 0 匹）

サンゴ被度：15-50%

ブラックバンド病、テルピオス多いところあり、白化現象

7.インダビシシンクチ：5 調査区間（11 月 22 日実施）

オニヒトデ観察数：0-7 匹（合計 10 匹）

サンゴ被度：40-85%

台風破損大きいところあり、オニヒトデ 1 調査区間に集中していた（10 匹中 7 匹）

8.インダビシイノー：5 調査区間（11 月 22 日実施）

オニヒトデ観察数：4-31 匹（合計 65 匹）

サンゴ被度：40-60%

枝状ミドリイシ群体中にオニヒトデ小型個体増加あり、病気多いが白化現象の影響少ない

9.鳩間島西シンクチ：7 調査区間（11 月 21 日実施）

オニヒトデ観察数：0 匹（合計 0 匹）

サンゴ被度：20-55%

全体的に小型ミドリイシ群体増加している

10.鳩間島西イノー：5 調査区間（11 月 21 日実施）

オニヒトデ観察数：1-4 匹（合計 10 匹）

サンゴ被度：25-70%

白化現象の影響少ない

11.名蔵湾：20 調査地点（9 月 28、29 日実施）

オニヒトデ観察数：0 匹（合計 0 匹）

サンゴ被度：15-75%

白化現象影響大きく、死亡発生している。サンゴの病気複数とても多い

12.マサーグチ～タキドングチ：10 調査区間（9 月 30 日実施）

オニヒトデ観察数：0-8 匹（合計 21 匹）

サンゴ被度：40-70%

ほぼすべて 20 cm未満（21 匹中 20 匹）、昨年の駆除範囲に集中している。白化現象影響あり。ダイビングポイント密集している範囲でサンゴの病気多い（複数種類）

13.ヨナラ水道西：12 調査区間（10 月 30 日実施）

オニヒトデ観察数：0-19 匹（合計 63 匹）

サンゴ被度：10-55%

オニヒトデの分布に偏りあり（サンゴ被度比較的高いところ）、台風破損目立つところあり

14.ヨナラ水道東：8 調査区間（10 月 31 日実施）

オニヒトデ観察数：0-23 匹（合計 67 匹）

サンゴ被度：30-80%

広範囲に小型ミドリイシ群体増加している

15. トーシングチ : 20 調査区間 (11 月 23 日実施)

オニヒトデ観察数 : 14-101 匹 (合計 944 匹)

サンゴ被度 : 25-60%

表在しているオニヒトデほとんどなく隠れた状態であるが、数匹が重なりあるように隠れていること複数あり。食害によるサンゴ被度減少始まる